京セラの5G対応デバイス「K5G-C-100A」NTT東日本のローカル5Gサービス 「ギガらく５Ｇ」との接続検証が完了

京セラ株式会社　　2022年03月01日

京セラ株式会社（代表取締役社長：谷本 秀夫、以下京セラ）は、このたび当社の5G対応デバイス「K5G-C-100A」が、東日本電信電話株式会社（以下NTT東日本）が本年春より提供開始予定のローカル5Gのマネージドサービス「ギガらく５Ｇ」との接続検証が完了しましたのでお知らせいたします。

5G対応デバイス「K5G-C-100A」

当社は、NTT東日本が実施するローカル5Gの実証実験に2021年夏以降に参画し、5G対応デバイス「K5G-C-100A」 https://www.kyocera.co.jp/prdct/telecom/office/iot/products/k5g-c-100a.html?kcnews を提供し、協力して実証を実施するとともに、同デバイスのデータ通信の機能向上に取り組んできました。

その中で、アップリンク（データ送信）の速度を向上させる「準同期」機能や複数のアンテナを使い、データの送受信を実施することで通信速度を上げる「Sub6 UL MIMO(マイモ）2x2」機能を同デバイスに搭載し、より安定した5G高速データ通信を実証してきました。

このような取り組みや同デバイスのデータ通信機能が評価され、このたび、NTT東日本が提供予定のローカル5Gのマネージドサービス「ギガらく５Ｇ」との接続検証が完了しました。

今後とも両社は協力して、より快適なローカル5Gサービスを提供することで、さまざまなお客さまの課題やニーズに柔軟に対応してまいります。

■「K5G-C-100A」が新たに対応する機能※

1.「準同期」（ローカル5G用）

ローカル5Gの導入が見込まれる工場や企業のビジネスの現場では、工場内に設置したIoTで取得したデータなどをいち早くデータセンタへ送ることが望まれます。そのニーズに対応するためアップリンク速度を向上させる「準同期」を行うことで、ローカル5Gに求められる快適な通信環境を実現します。

2.「Sub6 UL MIMO 2x2」（ローカル5G用）に対応

複数のアンテナでデータの送受信を実施することにより、データの送受信の通信速度を高速化する機能です。

※ 既に「K5G-C-100A」をご購入のお客様は3月2日より実施のソフトウェアアップデートにより「準同期」「Sub6 UL MIMO 2x2」をご利用いただけます。

■5G対応デバイス「K5G-C-100A」について

「K5G-C-100A」は、2020年10月より法人のお客様向けに販売を開始した5G対応デバイスです。多種多様な機器と、有線、無線問わず接続できるため、安価で簡単に5Gネットワークにつなげることができます。さらに、本製品はエッジコンピューティングを可能とするCPUを搭載しているため、負荷分散や低遅延、BCP対策など5G活用の幅を大きく広げることができます。工場や製造現場、セキュリティ、エネルギー・インフラなどのビジネスの現場において、各企業の課題やニーズに合わせた5Gの早期導入を可能にするデバイスです。

■「K5G-C-100A」の製品情報およびサービス情報については下記よりご覧ください。

https://www.kyocera.co.jp/prdct/telecom/office/iot/products/k5g-c-100a.html?kcnews

※記載されている内容は、報道機関向けの発表文章であり、発表日現在のものです。ご覧になった時点ではその内容が異なっている場合がありますので、あらかじめご了承ください。